(様式2)

年 　月 　日

申請者

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所属機関：

　　氏名：

EVIDENCE AWARDS 2025

応募様式

1. 研究名（プロジェクト名）
2. 実施体制（研究・プロジェクトの構成機関）

　　　〇研究代表者

　　　　氏名：

　　　　所属機関・職位：

 役割：

 〇共同研究者・研究分担者

　　 　 氏名：

　　　　所属機関・職位：

 　　　 役割：

　　　〇研究協力者

 氏名：

　　　　所属機関・職位：

 　　　 役割：

　　　〇研究協力機関

　　　　機関名：

　　　　担当部署：

　　　　役割：

※それぞれ複数名いる場合は、項目を複写して記載するようにしてください。

1. 主な研究場所
2. 研究期間
3. 経費
4. 課題設定と意義：研究の目的や意義、社会的背景や解決したい社会課題

※社会保障に関連する課題として妥当であるか、また、社会保障周辺領域の社会経済課題解決に貢献するか、社会や制度に与える影響の大きさなどを評価します。

研究を通じて達成したいゴールや、解決したい問いを具体的に記載してください。また、その研究がなぜ重要なのか、どのような価値があるのかも併せて記載してください。

1. 研究の特徴：新規性や革新性、独創性

※調査研究または取り組みに新規性・独創性があるかを評価します。

研究における特徴を説明し、他の先行研究との差別化や研究の独自性・優位性を具体的に記載してください。

1. 研究概要：調査・実証研究の設計、使用データ等

※分析結果が適切に解釈されて研究の全体像を明確にした上で、研究手法や測定方法、データの取得・分析方法について記載してください。

1. 成果の明確性・有効性：分析（エビデンス）、有効性

※研究によって得られたエビデンスを研究目的に照らして、論理的・客観的に説明してください。また、幅広い場面での有効性や妥当性について記載してください。

調査・実証研究の設計が妥当であるか（デザイン・サンプル数）使用データの適切性（収集方法、測定方法、質、量、信頼性等）

1. 社会実装性：実社会での活用方法や実現可能性、波及効果や社会的インパクト

※研究成果が社会に導入・定着し、実際に社会課題の解決に繋がるか、持続的な普及や経済的価値・社会的価値の創出、導入による波及効果や社会全体へのインパクトについて記載してください。

　　11）倫理的配慮

　※対象者の人権・プライバシーへの十分な配慮がなされているか、データの取得・取り扱いにおける研究倫理、実施過程の透明性が確保されているかについて記載してください。

連絡先

所属機関・部局・役職：

氏名：

所在地：〒

電話番号：

メールアドレス：

関連WEBページ（取組に関連するウェブサイトなど）：